



# SBSビジネスレポート

2022年12月期 期末株主通信

2022年1月1日～2022年12月31日

社長メッセージ

当期の連結業績

特集

サステナビリティ方針の制定

SBS Next Stage 2025

トピックス

会社概要&株式の状況



SBSホールディングス株式会社

# 2022年度は売上・利益とも 5期連続で過去最高値を更新、 LT導入を加速しEC物流1,000億円の 取り込みを目指します

代表取締役社長 鎌田 正彦

2022年度においては、新型コロナウイルス感染症の再拡大や資源価格・燃料価格の急騰、為替レートの急激な変動などに見舞われながらも、国内外の経済活動は徐々に回復の兆しを見せ、本格的な経済活性化が期待される状況となっております。そうしたなか当社グループでは、お客様と取引先、ならびに従業員の感染防止と安全確保を最優先に取り組みながら、主力の物流事業における3PL/4PLビジネスの獲得と、ネット通販などの物流需要の拡大に応えるべく積極的な対応を図ってまいりました。

また、M&Aを軸とする当社の成長戦略において、SBSグループ各社が相互間のシナジーを発揮させることで当社グループのサービスラインナップをさらに拡充し、社会の物流ニーズを強固にサポートする体制を整えました。

物流倉庫においては、ロボットなどLT(Logistics Technology)の導入を加速、2022年12月には先端ロボットソリューション検証施設「LTラボ」を埼玉県越谷市に開設しました。当ラボにおいて先端LTの導入精度の向上と運用の早期安定化を図りながら、2030年までに新規で1,000億円のEC物流を取り込むべく、汎用性の高いEC物流システムの開発を進めております。

2022年度の業績については、海外事業における海上・航空運賃の高騰や為替影響に加え、電子機器やEC関連などの国内物流量の増加に伴いグループ各社の物流事業が堅調であった

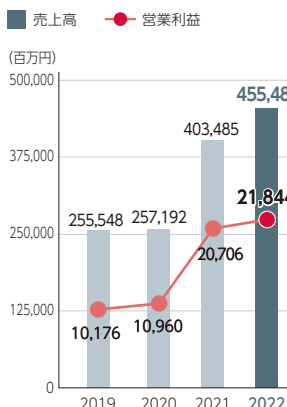
ことから、売上高は前連結会計年度より519億96百万円増(+12.9%)の4,554億81百万円、営業利益は同11億37百万円増(+5.5%)の218億44百万円、経常利益は同9億14百万円増(+4.5%)の214億4百万円となり、売上高、営業利益、経常利益の各指標とも5期連続で過去最高値を更新しました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2022年6月30日に当社連結子会社の物流施設(SBSフレック株式会社 阿見第二物流センター)で発生した火災に関連する火災損失を特別損失に計上しましたが、当該火災によって焼失・毀損した固定資産に対して支払われた保険金の受け取り額のうち、上記の火災損失に対応した金額を特別利益に計上したこと等により、同9億42百万円増(+8.7%)の117億32百万円となり、こちらも4期連続で過去最高値を更新することとなりました。

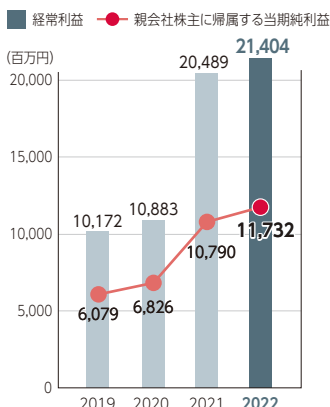
上記、阿見第二物流センターで発生した火災に関しては、幸いにして人的被害はなかったものの、株主をはじめとしたステークホルダーの皆様にご迷惑・ご心配をお掛けしましたことを改めてお詫び申し上げます。当社といたしましても、今後は対策を徹底し再発防止に努め、SBSグループ一丸となって引き続き事業活動と成長戦略に取り組んでまいります。株主の皆様には今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 当期の連結業績

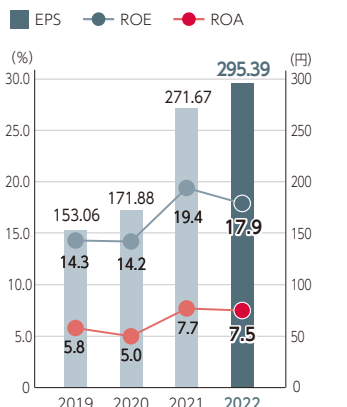
売上高／  
営業利益(右軸)



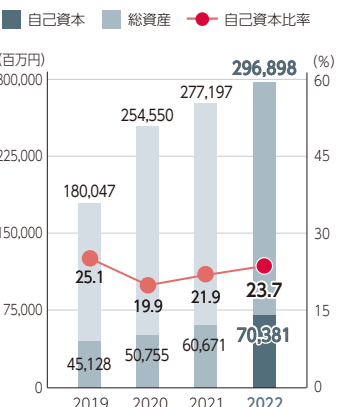
経常利益/親会社株主に  
帰属する当期純利益



一株当たり純利益(EPS)(右軸)／  
自己資本純利益率(ROE)／  
総資産利益率(ROA)



自己資本／総資産／  
自己資本比率(右軸)



特集

# 最先端ロボティクスの検証施設「LTラボ」の展望



SBSグループは、2022年12月1日、先端LT (Logistics Technology) の導入精度向上と早期安定化を目的とした検証施設「LTラボ」を「物流センター埼玉 (SBS三愛ロジスティクス)」内に開設しました。当施設で集積したデータをもとに、先端ロボットソリューションをグループ各社へ展開。物流現場における人手不足の解消や生産性の向上など、中長期的な課題解決に取り組みます。

## 物流現場への“合理的な” LT導入にとって不可欠な存在

SBSグループでは、かねてより物流現場へロボットソリューションを積極的に導入しLTに対する知見を広げてまいりました。このLTラボ内では、お客様の要件に応じた仮想の環境を構築し、事前検証と運用ノウハウ(実績、知見)を徹底的に収集します。

これにより、現場へ直接ロボットを導入するも十分に活用できず機能しないというリスクの低減が可能になります。

## LTラボ の強み



日々のデータを蓄積

### ① 現場を熟知した専門集団

物流現場でキャリアを重ねたメンバーが、得意分野を活かしLTラボを運営。

### ② 徹底シミュレーション

複数LTベンダーのソリューションのパフォーマンスを解析しLT設計を実施。

### ③ “LTリテラシー”醸成

様々なステークホルダーの見学を積極的に受け入れLTの啓発に取り組みます。

## 新築物流施設内に設置する「EC物流専用センター」 及び既存現場への導入を同時進行

現在、同施設にて「物流センター一宮 (SBSリコーロジスティクス/2023年4月稼働予定)」で採用するロボットソリューション、及び「野田瀬戸物流センターA棟(仮称) (SBSアセットマネジメント/2024年1月稼働予定)」内、EC物流専用センター向けソリューションの検証作業を行っています。

また、WMS(倉庫管理システム)と他機器との連携によるパッケージング化により、既存拠点への汎用的な導入も目標とし、先端ロボティクスの早期現場導入かつ計画的技術習得を目指します。

## EC物流プラットフォーム「EC物流お任せくん」発表!

SBSグループは、ECサイト運営を含め入庫から出荷、お届けまでをワンストップで提供する新サービス「EC物流お任せくん」を開発。急拡大を続ける国内EC物販市場の成長に貢献するとともに、2030年までに、EC物流の売上高1,000億円(流通総額1兆円)増を目指します。

特設サイト  
<https://ec.sbs-group.co.jp/>



「EC物流お任せくん」イメージキャラクターの長谷川博己さん

# サステナビリティ方針の制定及びサステナビリティ推進委員会の設置

## ■ サステナビリティ方針の制定

当社グループは、これまでも持続的成長と社会課題の解決に向けて取り組んでまいりましたが、企業を取り巻く環境が大きく変化し、社会課題の解決による持続可能な社会の実現と、持続的な企業価値の向上の両立を図ることの重要性が一層増していることを踏まえ、サステナビリティ経営の推進にあたり従業員が大切にすべき価値と目標を示すことを目的として「サステナビリティ方針」を制定しました。

### SBSグループサステナビリティ方針

#### 基本理念

SBSグループは人を尊重し、社会的責任を貫くという経営理念の精神に基づき、社会インフラである物流を通じて、人々の暮らしの安定と持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の方針のもと、グループ全従業員が国際社会の一員である自覚を持ち、積極的にサステナブルな取り組みを推進します。

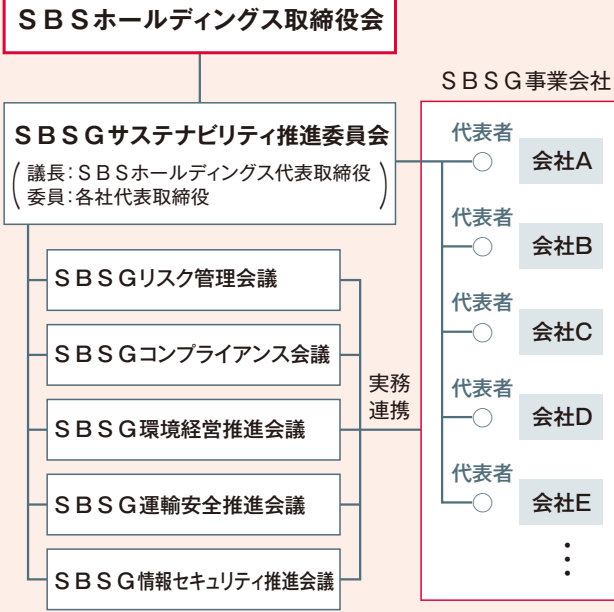
#### 基本方針

- ① SBSグループは、人とつながり、人の想いを大切にします。
- ② SBSグループは、社会とつながり、社会の期待に応えます。
- ③ SBSグループは、地球とつながり、地球の未来に配慮します。

## ■ サステナビリティ推進委員会の設置

- (1) **委員会設置の目的**：上記のサステナビリティ方針に則った経営体制の整備・強化を行い、グループ全体でサステナビリティ経営を実践して持続可能な社会の実現と持続的な企業価値の向上の両立を図るため、本委員会を設置します。
- (2) **委員会の役割**：本委員会は、取締役会の諮問機関と位置付け、SBSグループ全体のサステナビリティ戦略・活動方針の立案と、KPI指標及びグループ内活動の連携状況のモニタリングを行います。
- (3) **委員会の構成**：本委員会は、当社の代表取締役を議長とし、当社の取締役及びグループ各社の代表取締役により構成されます。
- (4) **委員会設置日**：2023年1月18日

### SBSグループ(SBSG)サステナビリティ推進体制



※上記各会議の議員は管理部門長・関連部門長及び担当者で構成

# SBSグループ中期経営計画「SBS Next Stage 2025」策定

2023年12月期から2025年12月期までの3カ年経営計画「SBS Next Stage 2025」を策定しました。物流業界を取り巻く環境は、脱炭素社会の到来、サプライチェーンの持続可能性に対する意識の高まり、構造的な労働力不足などの影響で大きな変革期を迎えています。当社においては、このような環境変化を一步先の成長ステージ(Next Stage)への転換点と捉え、さらなる飛躍に向けた取り組みを進めてまいります。

## 【経営理念と経営ビジョン】

経営理念に基づき、中期の経営ビジョンとして以下の3点を掲げました。

### 「ロジスティクス・テクノロジー(LT)×IT」で成長するメガベンチャー

業界トップティアの地位を確固たるものとし、あらゆる顧客の物流ニーズに応えるとともに、社会と共生し信頼される企業を目指す

1. サービスの提供を通じお客様の価値創造へ貢献
2. 社会インフラとしてESGを重視し、全てのステークホルダーに貢献
3. 継続的かつ業績に応じた利益還元

- お客様・株主に喜ばれ社員の幸せにつながる会社
- 人を大事にし、社員が生き生きと働くことで企業が繁栄
- 社会的責任を果たし、社会と共生し、社会の発展に貢献

## 【重点施策】

当社のこれまでの歩みと現在の経営環境を踏まえて4項目の重点施策を掲げ、計画期間における確実な実行を目指してまいります。

- ① グループ総合力の強化(グループプラットフォーム戦略と各社の独自戦略)
- ② ロジ事業基盤の整備及び拡充
- ③ LT×ITによる業務生産性の向上、差別化
- ④ サステナビリティ経営基盤の強化、人的資本に係る取り組み

## 【財務目標】

2025年12月期に、売上高5,000億円、営業利益275億円の達成を目指します。M&Aによる影響を除く自律的成長により3年間の売上高平均伸長率で4.5%を実現すると同時に、収益体質を改善し営業利益率を現在の5%弱から5.5%に高めてまいります。一方、自己資本比率についても同様に20%台から30%へと引き上げ、財務基盤の健全化にも取り組んでまいります。

(億円)

	22年度 実績	23年度 計画	25年度 計画
売上高	4,555	4,570	5,000
営業利益	218	228	275
自己資本比率	23.7%	25.5%	30.0%

(注) 計画値にはM&Aの影響を含めず

(注) 単位未満は四捨五入

11月  
6月・8月日本パッケージングコンテストでジャパンスター賞を受賞  
入賞作品発表会では受賞事例についてオンラインで講演

SBS東芝ロジスティクス

SBS東芝ロジスティクスは6月、「全日本物流改善事例大会 2022」にて発表した現場改善の取り組み事例が「優秀物流改善賞」を受賞。同月開催の「第23回 物流環境大賞」では、「サステナブル活動賞」1件と「特別賞」4件の併せて5件を受賞しました。また、8月に開催された「2022日本パッケージングコンテスト」では最高峰のジャパンスター賞である「日本貿易振興機構(ジェトロ)理事長賞」と包装部門賞の「工業包装部門賞」2件をトリプル受賞し、20年連続での受賞となりました。11月には「2022日本パッケージングコンテスト入賞作品事例発表会」が開催され、ジャパンスター賞の受賞事例として「リチウムイオン電池 100%リサイクルEPSと極限収納」のオンライン講演を行いました。



11月

ヴィアマテラス宮崎を全面バックアップする  
宮崎県新富町の女性活躍推進活動に賛同

SBSホールディングス

日本女子プロサッカーリーグ「.WEリーグ」への参入を目指す宮崎県的女子サッカークラブ「ヴィアマテラス宮崎」の選手を町職員として雇用して、女性アスリートのプレー環境整備やデュアルキャリア支援活動を行う宮崎県新富町の取り組みに賛同し、企業版ふるさと納税を活用した支援を行いました。



4月・6月

高度物流人材の育成を目的とした  
東大生向けの講演や見学会を開催

SBSホールディングス

東京大学先端科学技術センターに対する寄付講座の一環として、4月、SBSリコーロジスティクスの物流センター横浜金沢で見学会を開催。6月にはLT企画部による講演を実施し、若い人材が物流業界へ関心を持つきっかけに繋がる活動を行いました。



10月

## 「ホワイト物流」推進運動に賛同表明

SBSゼンツウ

SBSゼンツウは、国土交通省・経済産業省・農林水産省が提唱する「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言を10月に提出。トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化や、「ホワイト」な労働環境の実現を目指します。

11月  
4月・10月SBSグループドライバーコンテストを  
3年ぶりに開催

SBSグループ・SBS即配サポート・SBSゼンツウ

SBSグループは、11月、ドライバーの安全知識と運転技術の向上、グループ全体への安全意識の浸透を目的とした第5回ドライバーコンテストを3年ぶりに開催しました。また、SBSゼンツウが4月に第8回生活物流部門ドライバーコンテストを開催、10月にはSBS即配サポートが第2回セールスドライバー接客マナーコンテストを開催し、グループ会社単体でのコンテストも積極的に行われました。



5月・10月

環境配慮型の冷凍冷蔵特化センター  
「市川コールドセンター」などを開設

SBSリコーロジスティクス・SBSゼンツウ

SBSゼンツウは、冷凍冷蔵に特化した「市川コールドセンター」を10月に稼働開始。屋上に太陽光パネルを設置し、自然冷媒の冷凍機を使用するなどSDGs達成に向けた環境配慮型の新センターです。また、SBSリコーロジスティクスは3PL事業や流通加工に対応する「物流センター厚木」を5月に開設しました。



3月

グループの本社機能を西新宿に集約  
大型ビジョンと最新LT技術がお迎え

SBSグループ

SBSグループ内23社を、西新宿の住友不動産新宿グランドタワーに移転・集約しました。新本社のエントランスには大型4Kビジョンを搭載。実際に拠点で稼働している各種LT機器を展示した最先端ロボットのショールームも備えています。



4月

グループユニフォームを  
新デザインにリニューアル

SBSグループ

4月より、新ユニフォームで業務を開始。安心感と洗練されたイメージを持っていただけるようモノトーン基調といたしました。近年グループ入りしたSBS東芝ロジスティクス、SBSリコーロジスティクスを含む全社で着用することにより、グループとしての一体感が高まりました。



4月・11月

日本物流未来投資から  
(株)EMCと(株)創友がSBSグループ入り

SBSリコーロジスティクス・SBSフレック

SBSリコーロジスティクスは、11月、株式会社EMCの全株式を取得。協業によりサービスパーツロジスティクス事業の強化を図ります。また、SBSフレックは株式会社創友の全株式を取得し、SBSフレックネットとの合併を行いました。拠点とする千葉県野田市/千葉市における輸配送ネットワーク強化が実現しました。



# 会社概要&株式の状況

## 会社概要

社名 SBSホールディングス株式会社  
代表取締役 鎌田 正彦  
創立 1987年12月16日  
資本金 39億200万円  
売上高 4,554億円(連結) ※2022年12月期  
所在地 〒160-6125 東京都新宿区西新宿8-17-1  
住友不動産新宿グランドタワー25階  
TEL:03-6772-8200(代表)

事業内容 物流事業、不動産事業、マーケティング事業、人材事業 他

連結子会社 SBS東芝ロジスティクス(株)  
2023年1月1日

TLロジサービス(株)	東芝ロジスティクス上海外高橋社	東芝ロジスティクス杭州社
東芝ロジスティクス大連社	東芝ロジスティクス香港社	東芝ロジスティクスフィリピン社
東芝ロジスティクスシンガポール社	東芝ロジスティクスタイ社	東芝ロジスティクス・マレーシア社
TLフォーディングサービス・フィリピン社	東芝ロジスティクス・ベトナム社	東芝ロジスティクス・インド社
TLサービスタイ社	東芝ロジスティクス米国社	東芝ロジスティクス欧州社

SBSリコーロジスティクス(株)  
SBS三愛ロジスティクス(株)  
RICOH INTERNATIONAL LOGISTICS (H.K) Ltd.(香港)  
SBS Logistics (Thailand) Co., Ltd.[タイ]  
(株)ジャス

RICOH LOGISTICS CORPORATION[USA]	理光国際貨運代理(深圳)有限公司[中国]	SBS Vietnam Co., Ltd.[ベトナム]	SBSグローバルネットワーク(株)
----------------------------------	----------------------	-----------------------------	-------------------

SBSロジコム(株)  
SBSフレイトサービス(株)  
旭新運輸開発(株)

SBSロジコム関東(株)
--------------

SBSフレック(株)  
SBSフレックネット(株)

株日ノ丸急送
--------

SBS即配サポート(株)  
SBSゼンツウ(株)  
SBS古河物流(株)  
SBSスタッフ(株)  
SBSファイナンス(株)  
東洋運輸倉庫(株)  
マーケティングパートナー(株)  
SBSアセットマネジメント(株)  
(株)エルマックス

## 役員 (2023年3月28日現在)

代表取締役 鎌田 正彦	社外取締役 岩崎 二郎
取締役 泰地 正人	社外取締役 星 秀一
取締役 田中 康仁	社外取締役 小杉 善信
取締役 五味 夏樹	取締役(常勤監査等委員) 遠藤 隆
取締役 若松 勝久	社外取締役(監査等委員) 松本 正人
	社外取締役(監査等委員) 辻 さちえ

## 株式の状況

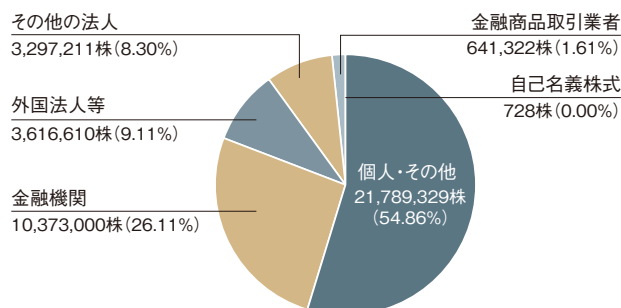
発行可能株式総数 154,705,200株  
発行済株式の総数 39,718,200株  
単元株制度の有無 有(100株)  
株主数 4,849名

## 大株主の状況 (2022年12月31日現在)

株主名	持株数	持株比率(%)
鎌田 正彦	14,388,400	36.22
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,057,200	12.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,458,700	6.19
SBSホールディングス従業員持株会	1,224,500	3.08
三井住友信託銀行株式会社(信託口 甲18号)	1,200,000	3.02
和佐見 勝	1,078,600	2.71
東武不動産株式会社	1,001,000	2.52
三井住友信託銀行株式会社(信託口 甲13号)	1,000,000	2.51
大内 純一	601,400	1.51
上田八木短資株式会社	500,600	1.26

※発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数第3位を切り捨てて表示しております。

## 所有者別株式分布状況 (発行済株式総数:39,718,200株)



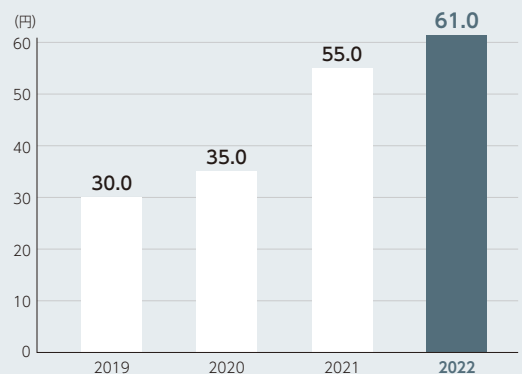
## 株主メモ

- 事業年度  
1月1日~12月31日
  - 期末配当金受領株主確定日  
12月31日
  - 定時株主総会  
毎年3月開催
  - 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社
  - 同連絡先  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1  
TEL. 0120-232-711(通話料無料)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
  - 上場証券取引所  
東京証券取引所 プライム市場
  - 公告方法  
公告掲載URL <https://www.sbs-group.co.jp/>
- ※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。

## ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 配当金の推移



SBSホールディングス株式会社

〒160-6125 東京都新宿区西新宿8-17-1  
住友不動産新宿グランドタワー25階  
TEL:03-6772-8200(代表)